

～子ども達の豊かなくらしのために～ 11月7日講演会開催しました

NPO法人パノラマ代表の石井正宏さんは、ひきこもりや不登校の子どもたちの相談支援、高校生の就労支援の仕組み「バイターン（アルバイトとインターン。学校と企業のコーディネートなど）」、福祉以上福祉未満の若者や支援の狭間にある多くの若者を少しでも多く拾い上げる様々な相談支援の取り組みをされています。見えない貧困、一人親世帯の貧困、経済的な格差が教育格差や、将来的な就労にも連鎖している現状のお話や、石井さんが実際に関わっている高校生のエピソードを交えたお話を伺いました。子どもたちの支援に関わる多様な現場のみなさん、行政、ボランティアなど21名の方が参加され、事例検討のグループワークを行いました。



＜子どもたちのために出来ること～みなさんの提言～＞

- ① 学校・家庭以外にあんしんできる居場所や大人の存在を
- ② 今のままの子どもを受け止め、受け入れられる何かを
- ③ 地域のおまつりなど仕事未満の役割と人とのつながりを
- ④ 成功体験や自己肯定感をもてるような支援を
- ⑤ こどもとの関係性（信頼感）を大切にされた支援を
- ⑥ 親も孤立していないか？という視点を

この場をきっかけに、新しい場と人がつながりました。「こどもの居場所」は継続的に取り組みます。 地域交流コーディネーター 菊地

### 第1・2回よこはまシニアボランティアポイント 登録研修会実施報告

よこはまシニアボランティアポイント登録研修会を平成28年9月26日（月）と11月14日（月）に横浜市原宿地域ケアプラザで開催致しました。総勢35名（65歳以上で横浜市内在住の方）、ボランティアポイント登録施設（5施設）の職員が参加されました。すでにボランティア活動をされている方から、今後活動をしてみたいという方まで参加者はさまざまでした。研修会では、シニアボランティアポイント事業の概要や換金方法（年間8,000円迄換金や寄付が可能）、ボランティアの基礎知識や活動の留意点、各施設のボランティアの受入状況や活動内容等をお話し致しました。

今後、地域のために何かやりたい、ボランティア活動を通して自分自身も健康でいたい、退職を機に地域のために何か役に立ちたい等、よこはまシニアボランティアポイント事業を活用しませんか？来年、第3回登録研修会も行う予定です。是非ご参加下さい！！

次回は3月13日（月）の予定です。（申込開始時期は29年2月1日より）



担当：奥山・菊地

社会福祉法人 聖母会 横浜市原宿地域ケアプラザ

# 生き活き

★【第100号】★

平成28年11月26日発行

横浜市戸塚区原宿4-36-1

代表 045(854)2291

FAX 045(854)2299

福祉保健の相談は包括支援センターへ

相談専用 045(854)2293

発行責任者 所長 川畑 正

## 第7回 東北チャリティイベント

平成29年3月4日(土) 10時～15時

横浜市原宿地域ケアプラザ(戸塚区原宿4-36-1 電話 045-854-2291)



バザー・東北物産展



工作コーナー オリジナル アクセサリー作り など 午前

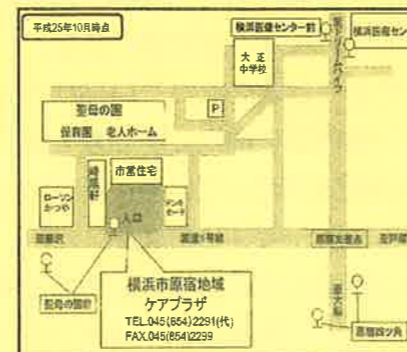


歌・ダンスの発表会 午後

大募集中！ 大作品展

\*大正地区（戸塚区）の昔の写真  
（1人2点まで。先着14点）

\*大正地区の名所やオススメポイントをテーマにした川柳（2月20日～3月3日までケアプラザで受付ます）



開館日・時間 平日 9時～21時 祝祭日 9時～17時（毎月第3月曜日、12月29日～1月3日は休館になります）



ホームページ



フェイスブック

ケアプラザ・地域の周辺情報など

## 横浜市紙おむつ給付事業

横浜市では、ねたきりまたは認知症の状態在宅の要介護者の方を対象に、紙おむつの給付事業を実施しています。利用できる対象者は、介護保険で要介護に認定されている方で、「ねたきり又は認知症の状態」でかつ在宅で介護を受けている方（施設に入所されている方や入院されている方は給付の対象外）で生活保護世帯または市民税非課税の世帯となります。

利用できる商品の種類は紙おむつ（テープタイプ、パンツタイプなど）のほか紙おむつと併用するパッドも対象となります（組み合わせで給付を受けることが可能）。

利用できる数量は2000円分（およそ紙おむつ1袋分に相当）を1単位として、要介護4、5の方は1か月あたり最大4単位、それ以外の方は最大3単位となり、自己負担額はその1割（生活保護受給世帯等は無料）となります。例えば要介護4の方は1か月あたり最大4袋であれば800円、3袋であれば600円の自己負担となります。申し込み先は区役所または地域包括支援センターですが、申し込みの際は今まで使用していた商品のパッケージをお持ちいただければ、手続きがスムーズになります。 地域包括支援センター 渡邊

### <楽しくトレーニングしよう会>

体操や脳トレを毎月1回開催しています

日程 12月18日、1月22日、2月26日、3月19日（日）

時間 10時～11時 参加費 100円（保険料として）

場所 横浜市原宿地域ケアプラザ 多目的ホール

持ち物 運動しやすい服装、飲み物、上履き 申込不要です。直接会場にお越し下さい

お問い合わせ 各地区保健活動推進員

横浜市原宿地域ケアプラザ 電話 854-2291（竹田・佐藤）

### <ミニ健康講座～糖尿病について～>

日程 2月1日（水） 13時半～14時半 場所 原宿ケアプラザ

講師 なかつし医院 中達貢先生 お申し込み 電話または来館にて

【地域ケア会議の目的は】～住み慣れた街でいつもまで生活できるように

●世界一長寿となった日本の地域社会を世界が注目 前例もなく、世界一となった今、日本の地域社会を支えるために、住民と多職種の専門職、行政が集まり開催されている「地域ケア会議」や介護保険制度などの政策を世界が注目しているそうです。

●人生50年から人生100年時代になっていく 日本は今年の9月時点で100歳以上の高齢者が全国に6万5700人近くになったそうです。昭和22年（西暦1947年）当時の平均寿命は52歳だったので、その当時はだれもそんなに長生きするとは思っていなかったと思います。

この先の未来、自分の子や孫世代の平均年齢は今よりも高くなって100歳になっているかも！！

●環境因子と地域特有の課題の整理 エレベーター付きマンションや平坦な場所にある家で過ごすのではなく、山坂が多い場所に住み、近所に買い物が出来るお店や病院が減っている。そういった住居環境の変化によって、住み慣れた地域では生活が出来なくなることが考えられます。

●物理的環境の変化は難しくても、地域の支援によって住みやすい環境に変化します。地域住民同士で子供から高齢者まで、つながり、見守り、声かけが大切なのです。 地域包括支援センター

# 子育て情報

子育て情報  
大正地区子育て  
連絡会

## 大正地区子育てカレンダー 1月

月	火	水	木	金	土
9祝日	10 シャベリ場 (地区) どんぐり(ケア) スマイル(俣野公園など)	11 おしゃべり ひろば(地区) おひさま(ケア) おはなしワールド(地区)	12 おひしゃま(毎週木曜) 日・すぎのこ幼稚園 原宿サロン(ケア)	13 しゃべり場 (ケア) こども将棋 (夢)	14 俣野プレイパーク(俣野公園) どんど焼き
16	17 シャベリ場 (地区) わんぱくキッズ (ケア)	18 おしゃべり ひろば(地区) おひさま(ケア)	19	20 しゃべり場 (ケア) こども将棋 (夢)	21 おしゃべりひろば(地区) 手作り!かろろ! ウドン作り体験 (お母)
23 おしゃべり ひろば(地区)	24 シャベリ場 (地区)	25 大正地区センター 子育て連絡会	26	27 シャ ベリ場(ケ ア)こども将 棋(夢)	28
30 おしゃべ りひろば(地区)	31 シャベリ場 (地区)		(地区)大正地区センター 852-4111 (ケア)原宿ケアプラザ 854-2291 (夢)夢みん 853-0480		

### 第2回大正地区子育て連絡会を開催しました！10月5日 於大正地区センター

大正地区で子どもたちの支援に関わる多様な主体のみなさんが参加する、今年度第2回目の子育て連絡会を開催しました。保育園・子育て支援拠点・主任児童委員・サークル地区センター・高齢者施設など20名の方がメンバーです。

これまでの顔の見える関係作りのつながりから、保育園の園庭開放に子育て支援拠点の利用者さんが参加したり、高齢者施設のお祭りに親子サークルのメンバーさんがボランティアとして参加するなど様々なコラボ事業に発展しました。

また、「こども」の捉え方として未就園児だけでなく、学齢期、中高校生、若者へと年齢の視点も広がってきました。地域の現状課題について区役所から提供があり、それぞれの立場で出来ることが何か？という視座にもつながりました。 地域交流 菊地



次回は1月25日「こども達の居場所」をテーマに話しあいます